

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年6月29日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	有限会社穂高 農業用ハウスにおけるヒートポンプの導入によるCO ₂ 削減事業
承認番号	KC1412
排出削減事業者名	有限会社穂高
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名： 該当なし)
事業実施場所	農業用ハウス①～⑨ (住所：〒438-0817 静岡県磐田市上万能字西村441)
事業の概要	メロン栽培用のハウスへ重油焚き加温設備から高効率のヒートポンプ空調機を導入することにより、エネルギー消費量及び二酸化炭素排出量の削減を目指す。
排出削減量の計画	2012年度： 9 tCO ₂ 2013年度： 58 tCO ₂ 2014年度： 59 tCO ₂ 2015年度： 61 tCO ₂ 2016年度： 62 tCO ₂ 2017年度： 62 tCO ₂ 2018年度： 62 tCO ₂ 2019年度： 62 tCO ₂ 2020年度： 56 tCO ₂ (事業実施期間合計 491 tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2013年3月1日 終了日 2018年2月28日
排出削減方法論	方法論番号004: 空調設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2016年4月1日～2018年2月28日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	148 tCO ₂ (2016年4月1日～2018年2月28日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 3回目のため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 農業用ハウスにおけるヒートポンプ空調機が、実績確認期間中継続的に稼働していることを、電力供給会社からの月次の請求伝票にて確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 モニタリング対象指標の実績値内容を確認し、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、ヒートポンプ空調機導入に関するモニタリングが実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 関係者への質問、活動量の実績データの検証、排出削減量算定の検証等により、制度の実施規定及び承認排出削減事業計画通り、ヒートポンプ空調機導入による電力使用量データ（電力供給会社の請求伝票）を含む、事業実施前後のモニタリング対象データ記録の保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認

	<p>関係者への聞き取り及びJ-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.1等により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は2016年4月1日から2018年2月28日までであり、排出削減量を算定した期間が2018年2月28日を超えないこと確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算43.3 kL、熱量換算1676.2 GJであることを確認した。

事業者は、ヒートポンプ空調機導入後もA重油を継続的に使用している。農業ハウスでの温度維持のために毎年ほぼ同量のA重油を補助的に使用とのことで、事業開始前および実施後も通年同様に7:30-22:00は25°C、22:00-7:30は23-24°Cレベルの温度設定で稼動している。承認済事業計画では事業実施後の排出量算定にA重油燃料使用の算定が含まれていないため、本実績報告書でのA重油使用の排出量算定は計画書どおり含めないことに問題はないと判断した。

以上